

令和7年度自己評価

幼保連携型認定こども園
はとり保育園

本園の目指す保育・教育

- 明るく元気な子ども (健康でがんばれる子ども)
- 正しく美しい心の子ども (礼儀正しい子・約束を守れる子)
- 仲良くおらかな子ども (思いやりがありよく考え工夫する子)

本年度重点的な目標

価格高騰の社会情勢の中、少子化傾向を踏まえ、子どもの人権を尊重した保育・教育の充実をめざし職員が一丸となって取り組む。

評価項目別の達成および課題状況

網 目	評 価 課 題
本園の保育・教育目標の認識度	認識度は職員・保護者とも高く、職員会議や保護者会等でさらに啓発していく。
乳児・幼児・延長保育教諭間の連携	健康や怪我等の報告・連絡・相談・確認の徹底に努力する。
各職種間の連携	他業種の職員との連携は円滑であるが、運営面での改善を図った。
保育・教育内容	「子どもの人権の尊重」を重点に子どもに接し、保護者の評価も99%を示した。さらなる充実した研修を積み、実践する。
研修	園内研修は、定期的実施されたが、園外研修はウェブ研修が多かった。特に業務のICT化の研修に重点をおいた。
安全への取組	園舎内外の防犯カメラや各教室の見守りカメラを設置し安全性の点検や確認を行った。特に、未満児の遊具の使用法の確認や点検箇所の確認を行った。
特別支援教育（共生教育）	できる限り支援者を付け対応はしているが、さらに知識や技能の研修を積ませ、他の関連機関との連携を図りながら、実践を継続する。

保護者との連携	家庭教育学級や市のイベントなどに、積極的に取り組み保護者との快い関係が構築された。
地域子育て支援	子育て支援センターを拠点として、周辺施設への「お出かけ広場の」の充実を図った。
保幼小連携	就学前に連絡を取り、定期的に小学校より教諭が見学、意見交換をしている。
取り組むべき具体的な課題	チームワークの強化とヒヤリハットの研修の充実により、さらに子どもの安全を守ることが課題である。
総評	もの人権を守ることに重点をおき、研修を積み重ねながら、温かい保護者対応を実践した。また、行事等の実践の工夫を職員全体で理解し真摯に取り組んだ。

〈外部（保護者）による評価〉

本園の目指す保育・教育については、高い評価を頂いているし、保護者との関係も良好である。園の運営について研修を重ねながら、認定こども園としての課題をさらに認識し、解決する。

〈財務状況〉

監査を受け妥当であると認められた。